



青空の下でバーベキューを楽しむ皆さんと提供されたくずまき高原牧場のお肉とゴーダチーズ入りのソーセージ（円内）

第1回春のバーベキュー大会 青空の下でおいしい肉を堪能

第1回春のバーベキュー大会は5月20日、くずまき高原牧場のプラトー特設会場で行われ、県内外から多くの人たちが訪れ、バーベキューを堪能しました。山崎健二さん（45歳・茶屋場）は「天気の良い外でやるバーベキューは、室内と雰囲気違ってとても良かった」と笑顔で話していました。

いろいろな種類の肉の味を知ってもらい、牧場ファンになってほしいと企画されたバーベキュー大会。次回は、旬の野菜やキノコなどを楽しめる秋に開催を予定しているそうです。

くずまき観光地域づくり協議会 課題克服しさらなる前進

くずまき観光地域づくり協議会（会長、觸澤義美副町長）の総会は5月22日、関係者約30人が出席し総合センターで行われました。

觸澤副町長は「取り組みの輪を広げ、それぞれが自走できるための事業を展開するため、これまでの活動で見えてきた課題を克服していかなければならない」とあいさつ。昨年度から開発を手掛けている特産品などの商品化や実事業化に取り組むほか、課題として挙げられた「高校生や若者が自由に集まることができる場所」づくりなどを展開していきます。



「課題解決に向けた取り組みを一層加速していかなければならない」とあいさつする觸澤副町長

ピアノ&チェロコンサート 白樺の森に響く豊かな奏で

5月20日、全国で音楽活動を行っている「アルコウ」の2人が森のこだま館を訪れ「白樺の森で聴くピアノ&チェロアコースティックコンサート」を開催しました。

町内外から訪れた約40人がオリジナル曲などを鑑賞。重厚感のあるチェロの響きと流れるようなピアノの旋律に、リズムを刻んだり時折目を閉じて聴き入ったりしていました。

コンサートの最後には、町内で音楽を楽しむスタッフらと共演。会場は、さまざまな楽器が織りなす豊かな奏でに包まれていました。



アコースティックデュオ「アルコウ」のお二人（円内）と町内で音楽を楽しむスタッフらによる共演の様子



グリーンテージの旧浴室棟を改修し造られたミルクホールの完成を祝う出席者の皆さん

ミルクホールのお披露目会 高級感とぬくもりある空間

グリーンテージの旧浴室棟を改修して造られた「ミルクホール」のお披露目会は4月26日、同ホールで関係者ら約40人が出席して行われました。

鈴木町長は「ワンランク上の施設が完成しました。多くの方々にこのホールを使っていただきたい」とあいさつ。町産アカマツ材をふんだんに使用したホールは、ぬくもりのある空間が広がり、毛足の長いじゅうたんや壁に張られた上品な布クロスに加え充実した音響設備など、ホール全体に高級感を持たせています。

2018県B&Wショウ 経産牛の名誉賞に八幡

岩手県ホルスタイン改良同志会（中六角保広会長・江刈）主催の「2018岩手県ブラックアンドホワイトショウ」は5月1日、雫石町の全農いわて中央家畜市場で開催されました。

県内各地から計87頭の牛が出品され、発育の程度や体型、乳房の成長度など改良の成果を競い合いました。審査の結果、本町の出品者で各部の1位に入賞されたのは、第1部の折元大樹さん（遠矢場）と第5部、第10部の八幡勝幸さん（星野）でした。また、経産牛の名誉賞は、第10部1位の八幡勝幸さんに輝きました。



手綱を握り牛と息を合わせ堂々と審査会場に入場するリードマン



七滝まつりを盛り上げる下冬部七ツ物保存会の皆さんと新しくなった七滝の鳥居（円内）

春の訪れ告げる七滝まつり 町内外から約100人が集う

七滝まつり（同実行委員会主催、下田稔会長）は5月4日、下冬部ふれあい広場で町内外から約100人が参加し開催されました。

下田会長は「馬淵川下流の下冬部の里へようこそ。おかげさまで鳥居も新しく立派にできました」とあいさつ。続いて、鈴木町長が「七滝まつりを地域の皆さんから守っていただき、永續発展させてほしい」と祝辞を述べました。

訪れた人たちは、郷土芸能などが繰り広げられるステージを楽しみながら、焼き肉や田楽などに舌鼓を打ち交流を深めていました。